

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は定率法、無形固定資産は定額法によっている。

(2) 消費税等の会計処理

税込方式によっている。

2. 会計方針の変更

該当する事項はありません。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額とその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
退職給付引当資産	6,585,000	1,110,000		7,695,000
土地・建物取得資産	27,300,000	7,300,000		34,600,000
BOD測定装置取得資産	5,450,000	1,450,000		6,900,000
創立10周年記念式典資産	500,000	250,000		750,000
小 計	39,835,000	10,110,000		49,945,000
合 計	39,835,000	10,110,000		49,945,000

4. 基本財産及び特定資産の財源額及びその残高

特定資産の財源額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
退職給付引当資産	7,695,000	()	()	(7,695,000)
土地・建物取得資産	34,600,000	()	(34,600,000)	()
BOD測定装置取得資産	6,900,000	()	(6,900,000)	()
創立10周年記念式典資産	750,000	()	(750,000)	()
小 計	49,945,000	()	(42,250,000)	(7,695,000)
合 計	49,945,000	()	(42,250,000)	(7,695,000)

5. 担保に供している資産

該当する事項はありません

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高（直接法により減価償却を行っている場合）

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	389,743	314,478	75,265
機械装置	4,137,378	4,137,375	3
什器備品	6,630,101	6,385,278	244,823
ソフトウェア	630,000	262,500	367,500
合 計	11,787,222	11,099,631	687,591

公益社団法人 広島県浄化槽維持管理協会

7. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当該債権の当期末残（貸倒引当金を直接控除した残額のみを記載した場合）

該当する事項はありません。

8. 保証債務（債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。）等の偶発債務

該当する事項はありません。

9. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

該当する事項はありません。

10. 重要な後発事象

該当する事項はありません。

11. その他

該当する事項はありません。